

大磯町では、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立て、継続的な検証改善サイクルの確立を目的として、文部科学省「令和元年度全国学力・学習状況調査」を平成 31 年 4 月 18 日（木）に実施しました。

本調査は、小学校第 6 学年及び中学校第 3 学年の全児童生徒を対象としたもので、大磯町は小学生 276 名、中学生 240 名が参加しました。（※児童自立支援施設おおいそ学園内にある大磯町立国府小・中学校生沢分校に在籍する児童・生徒も含む。）今年度より、主に「知識」に関する問題（A 問題）と、主に「活用」に関する問題（B 問題）が一体化されることになりました。

令和元年 7 月 31 日（水）に文部科学省からの調査結果公表を受け、令和元年度大磯町「全国学力・学習状況調査」結果分析・活用検討委員会を組織し、大磯町における児童生徒の学力・学習状況を把握・分析してまいりました。このたび、調査結果の報告がまとまりましたので、次のとおりお知らせいたします。

## 大磯町の【特長】と（課題）

【特長】『大磯町では、児童・生徒に対して、必要な資質・能力を身につけさせています』

⇒教科に関する調査の結果から、大磯町は全国及び県の平均正答率と比較して、大きな差は見られませんでした。このことから、大磯町では児童・生徒に対して必要な学力を身につけさせていると考えます。

（課題）『児童・生徒が習得した知識をもとに、教科等横断的にそれらを活用し、課題解決を図る授業を拡充する必要があります』

⇒新しい学習指導要領を踏まえ、大磯町では、教師が一方的に知識を伝達するだけの授業ではなく、習得した知識をもとに、児童・生徒がそれをどのように活用し課題解決を図っていくのか自ら考えるような授業を目指しています。その一方で、児童生徒質問紙の、「学級の友達との間で（※中学校は「生徒の間で）」話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることや、授業で学んだことをほかの学習に生かすことができていると思いますか。」「授業で学んだことを、ほかの学習に生かしていますか。」の問いに対して、「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童・生徒の割合は、県、全国の数値と比べてやや下回る結果となりました。今後、この点を意識しながら、さらに授業改善を推進していく必要があります。

なお、本調査により測定できるのは学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎないことに留意して、教育施策・教育活動の改善に努めてまいります。保護者・地域の皆様には、大磯町の児童生徒の健やかな成長のため、今後も学校教育へのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

# 1 教科に関する調査の結果から

## 【小学校国語】

今回出題された学習内容について、大磯町では、全国及び県の平均正答率と比較して大きな差は見られませんでした。大磯町の学校は、全国や県と比較しても、児童に対して身に付けさせるべき学力について指導していると言えます。一方で、全国的な傾向と同様に、「話すこと・聞くこと」と「書くこと」の記述式の問題や「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の一部については、やや課題がみられました。

### 主な特長と課題

特長（習得の状況が良好であると判断できるもの）	課題（指導の改善・充実が求められるもの）
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらか読む</li><li>・ 目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読む</li><li>・ 話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をする</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く</li><li>・ 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う「調査の<u>たいしょう</u>（対象）」「<u>かんしん</u>をもってもらいたい」</li><li>・ 話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる</li></ul>

### 授業の充実に向けて取り組んでいくこと

<ul style="list-style-type: none"><li>・ 図表やグラフを用いた筆者の目的やその効果をとらえながら、自分の表現に生かすことができるように指導していく。また、より分かりやすくするためにどのような図表やグラフを用いるのがよいかを考えることを習慣づけられるような指導も行っていく。</li><li>・ 自分の書いた文章を見直す中で、漢字のもつ意味を考えながら、文や文章の中での正しい使い方を習得できるような指導を行っていく。</li><li>・ 児童がインタビューに必然性を感じることができる話題の設定や、その成果を生かす場の設定をすることで、児童自身が身についたことを自覚できるような振り返りを設定するような指導を行っていく。</li></ul>
---

## 【小学校算数】

今回出題された学習内容について、大磯町では、全国及び県の平均正答率と比較して大きな差は見られませんでした。大磯町の学校は、全国や県と比較しても、児童に対して身に付けさせるべき資質・能力について指導していると言えます。一方で、全国的な傾向と同様に、解の求め方について説明をしたり、記述したりする力には課題があります。

### 主な特長と課題

特長（習得の状況が良好であると判断できるもの）	課題（指導の改善・充実が求められるもの）
<ul style="list-style-type: none"><li>・台形について理解している。</li><li>・棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることができる。</li><li>・目的に適した伴って変わる二つの数量を見出すことができる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述できる。</li><li>・示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を説明できる。</li></ul>

### 授業の充実に向けて取り組んでいくこと

<ul style="list-style-type: none"><li>・基礎・基本の定着を図るとともに、既習の知識をもとに発展的・応用的に考えたりする活動や、考えたことなどを表現したり、説明したりする活動を授業に多く取り入れていく。</li></ul>
---

## 【中学校国語】

今回出題された学習内容について、大磯町では、全国及び県の平均正答率と比較して大きな差は見られませんでした。大磯町の学校は、全国や県と比較して、生徒に対して身に付けさせるべき学力をきちんと指導していると言えます。但し、全国的な傾向と同様に、封筒の書き方に関する事項については課題が見られました。

### 主な特長と課題

特長（習得の状況が良好であると判断できるもの）	課題（指導の改善・充実が求められるもの）
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えを持つ。</li><li>・ 話合いの話題や方向を捉える。</li><li>・ 書いた文章を読み返し、論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討する。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 封筒の書き方を理解して書く。</li></ul>

### 授業の充実に向けて取り組んでいくこと

<ul style="list-style-type: none"><li>・ 授業の中で、実際に手紙のやり取りをするような活動を取り入れるとともに、表書きの宛名や住所などを正しく書くことや、基本的な形式を確認する指導を行っていく。</li></ul>
--

## 【中学校数学】

今回出題された学習内容について、大磯町では、全国及び県の平均正答率と比較して大きな差は見られませんでした。大磯町の学校は、全国や県と比較して、生徒に対して身に付けさせるべき学力をきちんと指導していると言えます。一方で、全国的な傾向と同様に、解の求め方について説明をしたり、記述したりする力には課題があります。

### 主な特長と課題

特長（習得の状況が良好であると判断できるもの）	課題（指導の改善・充実が求められるもの）
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 図形における平行移動の意味を理解している。</li><li>・ 図形における反対の意味を理解している。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる。</li><li>・ 資料の傾向を的確にとらえ、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる。</li></ul>

### 授業の充実に向けて取り組んでいくこと

<ul style="list-style-type: none"><li>・ 言葉や数、式、図、表、グラフなどの相互の関連を理解し、それらを適切に用いて問題を解決したり、自分の考えを分かりやすく説明したり、互いに自分の考えを表現し伝え合ったりする活動を授業に多く取り入れていく。</li></ul>
--

## 【中学校英語】

今回出題された学習内容について、大磯町では、「聞くこと」、「読むこと」、「書くこと」において、全国及び県の平均正答率と比較して大きな差は見られませんでした。

大磯町の学校は、全国や県と比較して、生徒に対して身に付けさせるべき英語の学力をきちんと指導しているということが出来ます。

但し、メッセージを聞いてアドバイスを英語で記述するような、聞いた内容について適切に応じる問いや、書かれた内容に対して自分の考えを書く、どちらがよいか理由とともに意見を書く問いについては、全国的な傾向と同様に課題が見られました。

なお、今回中学校の英語「話すこと」調査にかかる特例的な措置に伴い、英語調査の結果については、「聞くこと」、「読むこと」、「書くこと」の合計をもとに検証しております。「話すこと」については、全国の平均正答数及び平均正答率を別に集計して「参考値」として取り扱っております。

### 主な特長と課題

特長（習得の状況が良好であると判断できるもの）	課題（指導の改善・充実が求められるもの）
<ul style="list-style-type: none"><li>・文中の空所に入れるものとして、最も適切なものを選ぶことができる。</li><li>・与えられた情報に基づいて、説明する文章を書くことができる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・来日する留学生の音声メッセージを聞いて、部活動についてのアドバイスを書くことができる。</li><li>・食糧問題について書かれた資料を読んで、その問題に対する自分の考えを書く。</li><li>・学校を表す2つのピクトグラム（案内用図記号）の案を比較して、どちらがよいか理由とともに意見を書く。</li></ul>

### 授業の充実に向けて取り組んでいくこと

<ul style="list-style-type: none"><li>・聞くだけにとどめず、把握した内容について適切に応じることができるような自然な英語の使用場面を設定していく。</li><li>・書かれた内容に対して読むだけにとどめず、読んだ内容について、自分の考えを整理して述べるができるよう、話題になっている問題に対してペアやグループで尋ね合ったり伝え合ったりして、最終的にはそれらを自分の意見として書いてまとめるような活動を授業に多く取り入れる。</li><li>・モデル文を参考にし、一部分を自分のことに変えることでオリジナルの文に書き換えるような活動を行い、書くことに慣れさせていくなど、まとまりのある文章を書く機会を増やす。</li></ul>
--

## 2 児童生徒質問紙調査の結果から

### 【小学校】

「ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある」、「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」という質問に対して、9割以上の児童が肯定的な回答をしました。一方で、「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見の良さを生かして解決方法を決めていると思いますか」という質問については、肯定的な回答が神奈川県、全国と比較してやや低い結果となりました。

児童に対して自己肯定感が高まっていくような指導の充実を図っていくとともに、特別活動等の授業を通じて、社会参画の意識を高め、自治能力を高める指導を行っていきます。

### 【中学校】

「ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある」、「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」という質問に対して、9割以上の生徒が肯定的な回答をしました。また、「数学の勉強は好き」と回答した割合も、全国及び県の割合と比較して高くなっています。

その一方で、「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見の良さを生かして解決方法を決めていると思いますか」という質問や、「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」、「授業で学んだことを、ほかの学習に生かしていますか」という質問については、肯定的な回答が神奈川県、全国と比較してやや低い結果となりました。

特別活動等の授業を通じて、社会参画の意識を高め、自治能力を高める指導を行っていくとともに、「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業づくりに努めていきます。

### 3 家庭や地域の皆様にお知らせしたいこと

- ・児童生徒質問紙の質問への回答状況と各教科の調査結果を比較すると、次のような児童生徒に、全ての教科で平均正答率が高い傾向がみられます。(必ずしも因果関係を示したものではありません。)

#### 【小学校】

- 家で、自分で計画を立てて勉強している。
- 家で、学校の授業の予習・復習をしている。
- 今住んでいる地域の行事に参加している。
- 授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思う。
- 授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている。
- 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。
- 授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表している。

#### 【中学校】

- テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る。(携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含む)
- 問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える。
- 授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える。
- 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。
- 授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表している。

※今回、携帯電話やスマートフォンの利用に関する質問項目はありませんでしたが、(お子様が携帯電話やスマートフォンを利用している場合は)引き続きご家庭においても、携帯電話やスマートフォンの適切な利用に関してお子様と話し合っただけであればと思います。

### 4 大磯町教育委員会から

町教育委員会では、本調査の分析結果を各学校に提供しました。学校では、町全体の結果をもとに、各校の詳細な結果の分析と考察を進め、成果と課題を明確にしました。今後の教育活動において、成果についてはさらなる充実と、課題については全校挙げての解決に取り組んでまいります。

今回の調査結果から、町は全国・県と同程度の学力を児童・生徒へ概ね指導できていることが明らかとなりました。その一方で、教科の領域によっては課題が見られる内容もありました。これについては、全ての教員が真摯に受け止め、改善に向けて取り組んでまいりたいと思います。

町教育委員会では、平成25年度から4年間、神奈川県教育委員会より「かながわ学びづくり推進地域研究委託事業」を受託し、研究を進めてまいりました。そして、この成果を一時的なも



のとせずこの先も継続させていくために、平成 29 年度から「大磯学びづくり研究推進事業」を拡充し、町内の全小・中学校が研究推進校として、様々な研究・研修会を企画及び実施することを通じて、教員の資質向上と共に日常の授業の改善・充実に努めているところです。

また、「日常授業の改善・充実のための幼・小・中相互訪問事業」を立ち上げ、校種の異なる教員が校区の園・学校を訪問し、普段の授業を見せ合いながら、授業づくりについて考える機会を整えております。

上記事業と共に、令和 2 年度より小学校から全面実施となる新しい学習指導要領を踏まえた授業改善に向けて、町教育委員会としても、全ての学校・教職員に対して必要な研修等の機会を設けていくとともに、必要な支援を行ってまいります。

最後になりますが、町は平成 27 年に大磯町教育大綱を策定いたしました。その基本理念である、「いのち」「こころ」（～自らの可能性を求め、新しい時代を心豊かに生きる人づくり～）を輝かせる三つの力（「知力」「体力」「共感力」）の育成を目指していくために、教育委員会と学校は、家庭や地域との連携を図り、協力をいただきながら、未来を生きる大磯町の子どもたちのために必要な力を育成していきたいと思っております。今後も学校教育へのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。